

# ZEON

## CORPORATE PROFILE

会社案内





SDGsの目指す姿を経営計画の根幹に据え、  
私たちは一人ひとりが成長することにより、  
お客様の夢と快適な社会の実現に貢献してまいります。

日本ゼオンは1950年の創業以来70余年、化学の力を源泉に、独創的技術によって生み出される世界に誇れる製品を次々と世の中に提供し続けてまいりました。

1959年に日本で初めて合成ゴムの量産化に成功した当社は、確かな技術力をベースに、以降各種合成ゴムや合成ラテックス、熱可塑性エラストマーといった製品を次々と開発しました。更に粘着・接着技術を応用して製品化し、高度なポリマー設計技術と微粒子制御技術によって重合法トナーの量産化を成功させ、現在のエラストマー素材事業の礎を早くに築き上げました。なかでも省燃費タイヤ用の合成ゴム、自動車の重要保安部品である特殊合成ゴムの生産、加工まで、グローバルな見地からいち早くアジアを中心に海外展開を図っております。グループ企業は国内外合わせて50社を超える規模に至りました。

その後、本格化した新規分野への事業展開は、当社の独自技術開発への挑戦の歴史でもあります。高機能樹脂や光学フィルム、電子材料やリチウムイオン二次電池材料といった、当社事業のもう一つの柱である高機能材料事業の製品群は、現代の私たちの暮らしを支える素材として欠かせないものとなっています。

現在では、CASE、MaaSに対応した新規材料、医療・ライフサイエンス分野、5G／6Gへの製品開発等々、新規市場への製品も次々と誕生しております。

激変が予測される現状の事業環境においても、安全第一で工場の操業に取組み、これらの製品をお客様に安定した品質でお届けするとともに、地球環境保全への取り組みも真摯に継続してまいります。また、2050年カーボンニュートラルを実現すべく、国内工場におけるエネルギー転換をはじめとするカーボンニュートラルマスタープランを策定しました。全世界共通のゴールであるSDGsをゼオングループの一人ひとりが理解し、その目標に対してどのような貢献ができるか、SDGsを経営の根幹に掲げ、グループの総力を挙げての取り組みをスタートさせました。

そしてこれからも、当社にしかできない独創的な技術や製品の開発を進め、お客様の夢と快適な社会の実現に貢献していきたいと考えております。

代表取締役社長

豊嶋 哲也



## 【企業理念】

### 大地の永遠と人類の繁栄に貢献する

大地(ゼオ)と永遠(エオン)からなるゼオンの名にふさわしく、  
独創的な技術・製品・サービスの提供を通じ、  
「持続可能な地球」と「安心で快適な人々の暮らし」に貢献する。

## 【サステナビリティ基本方針】

- 「持続可能な地球」と「安心で快適な暮らし」に貢献する
- 公正で誠実な活動を書き、信頼される企業であり続ける
- より良い未来のために、一人ひとりが考え、行動する

ゼオンの考えるサステナビリティとは、企業理念「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」のもと、ゼオンが社会とともに持続的な成長を続けていくことです。

そのために、地球や社会の課題解決に役立つ製品・サービスを提供し、いかなる時も誠実な企業活動を行うことでステークホルダーとの信頼関係を構築するとともに、一人ひとりが社会と自身のより良い未来を考え日々活動します。



## ゼオングループの中期経営計画(STAGE30)

ゼオングループの2030年のありたい姿を実現するための中期経営計画(STAGE30)の概要です。

企業理念が意味する「地球と人類が共存するより良い未来」を実現するために、SDGsへの取り組みを通してこのビジョンの達成を目指していきます。

SDGsの17の目標の内、ゼオングループが注力するのは9項目、そのためのベースとなる大切な行動指針として、また「まずやってみよう」「つながろう」「磨き上げよう」の3つの行動を「大切にすること」として「社会の期待と社員の意欲に応える会社」を目指します。



STAGE 30



「母なる大地から原料を得て製品を創り出し、  
人類の繁栄に貢献すること」を理念に、  
独創的な技術で社会貢献を目指します

会社概要

**社 名** 日本ゼオン株式会社 (ZEON CORPORATION)  
**設 立** 1950年4月12日  
**資 本 金** 242億11百万円 (2024年3月末)  
**売 上 高** 連結3,822億79百万円 (2023年度)  
**従業員数** 4,462名 (2024年3月末)  
**事業内容** エラストマー素材事業：合成ゴム、合成ラテックス、化成品  
高機能材料事業：高機能樹脂・部材、電子材料、電池材料、  
化学品、医療器材  
その他：CNT事業、RIM配合液・成形品、塗料等の販売など

事業所

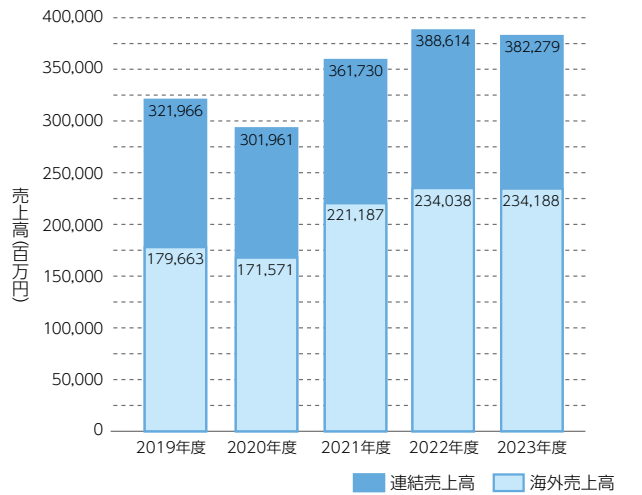
**本 社** 〒100-8246  
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル  
TEL：03-3216-1772 FAX：03-3216-0501  
**大 阪 事 務 所** 〒530-0001  
大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル  
TEL：06-4797-8220 FAX：06-4797-8225  
**名 古 屋 事 務 所** 〒460-0003  
愛知県名古屋市中区錦1丁目18番24号  
いちご伏見ビル7階  
TEL：052-209-9146 FAX：052-209-9147  
**高 岡 工 場** 〒933-8516  
富山県高岡市狹布630  
TEL：0766-21-0252 FAX：0766-21-8201  
**川 崎 工 場** 〒210-9507  
神奈川県川崎市川崎区夜光1-2-1  
TEL：044-276-3700 FAX：044-276-3701  
**徳 山 工 場** 〒745-0023  
山口県周南市那智町2-1  
TEL：0834-21-8501 FAX：0834-21-8793  
**水 島 工 場** 〒711-8511  
岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1  
TEL：086-475-0021 FAX：086-475-1169  
**氷見二上工場** 〒935-0035  
富山県氷見市上田子80  
TEL：0766-91-8520 FAX：0766-91-8553  
**敦 賀 工 場** 〒914-0141  
福井県敦賀市昴生野35  
TEL：0770-20-6300 FAX：0770-20-6301  
**総合開発センター** 〒210-9507  
神奈川県川崎市川崎区夜光1-2-1  
TEL：044-276-3721 FAX：044-276-3720

**上場市場** 東京 (プライム市場)  
**株 主 数** 13,317名 (2024年3月末)

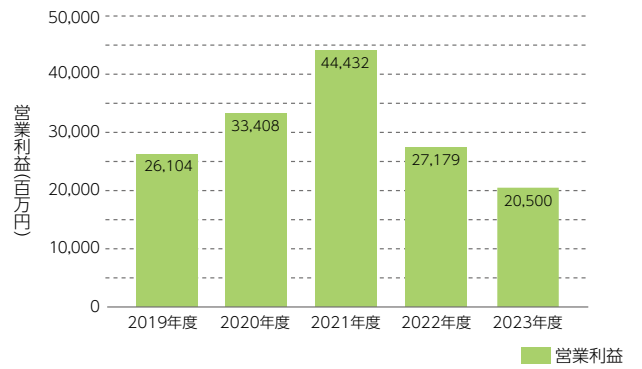
| 株主名                          | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)      | 25,191  | 11.84   |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)           | 15,878  | 7.46    |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT | 12,652  | 5.95    |
| 株式会社みずほ銀行                    | 8,370   | 3.93    |
| 朝日生命保険相互会社                   | 7,679   | 3.61    |
| 横浜ゴム株式会社                     | 7,678   | 3.61    |
| 旭化成株式会社                      | 5,043   | 2.37    |
| 全国共済農業協同組合連合会                | 4,765   | 2.24    |
| 農林中央金庫                       | 4,000   | 1.88    |
| 日本ゼオン取引先持株会                  | 3,847   | 1.81    |

(注) 当社は自己株式16,762千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

連結売上高・海外売上高の推移



営業利益の推移



沿革

1950年 4月 合成樹脂の製造販売を目的として、日本ゼオン株式会社を資本金5百万円で設立。  
本社を東京都中央区銀座西7丁目3番地の日本軽金属（株）内に設置。  
1951年 1月 B.F.グッドリッチ・ケミカル社と塩化ビニル樹脂製造に関する技術提携。  
1952年 4月 蒲原工場（静岡県）が完成し、塩化ビニル樹脂生産開始。  
1953年 9月 技術研究所を開設。  
1956年 11月 高岡工場（富山県）が完成し、塩化ビニル樹脂生産開始。  
1959年 7月 川崎工場（神奈川県）が完成し、日本で初めて合成ゴム生産開始。中央研究所開設。  
1961年 9月 東京証券取引所に株式を上場、10月には大阪、名古屋にも上場。  
1965年 6月 本社を東京都千代田区丸の内2-6-1に移転。  
8月 徳山工場（山口県）が完成し、GPB法（自社技術によるブタジエン抽出技術）によるブタジエン及びSBRの生産開始。  
11月 BRの生産開始。  
1967年 3月 蒲原工場閉鎖。  
1969年 8月 水島工場（岡山県）が完成し、塩化ビニル樹脂生産開始。  
1970年 9月 B.F.グッドリッチ・ケミカル社が当社保有株をすべて日本側に譲渡。  
1971年 11月 英文社名をGeonからZeonに変更。  
GPI（自社技術によるイソプレン抽出技術）設備が水島工場に完成し、IRの生産開始。  
1973年 8月 C5石油樹脂の生産を水島工場で開始。  
1978年 2月 NBRの生産を徳山工場で開始。  
1980年 4月 合成香料の生産を水島工場で開始。  
1982年 7月 電子材料事業に進出。  
1984年 4月 水素化ニトリルゴム〔Zetpol®（ゼットポール）〕の生産を高岡工場で開始。  
1985年 11月 全社的品質管理でデミング賞実施賞を受賞。  
12月 熱可塑性エラストマーSISの生産を水島工場で開始。  
1986年 3月 重合法トナーの生産を川崎工場で開始。  
8月 溶液重合SBRの生産を徳山工場で開始。  
1989年 3月 英国BPケミカルズ社のNBR事業を買収。  
9月 RIM事業に参入。  
10月 B.F.グッドリッチ・ケミカル社の特殊ゴム部門を買収。  
1990年 2月 補助人工心臓の製造承認を世界で初めて取得。  
10月 医療器材総合工場が高岡工場内に完成。  
11月 シクロオレフィンポリマー(COP)〔ZEONEX®（ゼオネックス）〕プラントが水島工場に完成。  
1994年 7月 環境資材事業を本格展開開始。  
10月 高岡・徳山工場がISO9002認証を取得、95年に川崎・水島工場も取得。  
合併処理浄化槽生産設備が水島工場に完成。  
1995年 7月 塩ビ事業を新第一塩ビ（株）へ移管。  
1998年 6月 ゼオンケミカルズタイランド社の石油樹脂生産設備が完成。  
1998年 9月 COP〔ZEONOR®（ゼオノア）〕を上市。  
11月 高岡工場がISO14001認証を取得、99年に徳山・水島・川崎工場が取得。  
12月 〔ZEORORA®（ゼオローラ）〕の生産設備が高岡工場に完成。  
米国DSMコーポリマー社からNBR事業を買収。  
1999年 9月 米国グッドイヤー社から特殊ゴム事業を買収。  
2000年 3月 水島工場で塩ビ樹脂生産を打ち切り、塩ビ事業から撤退。  
7月 創業50周年を契機に社章と英文社名を「ZEON CORPORATION」に変更。  
光学フィルム製造工場が高岡工場内に完成。  
2001年 12月 LCD用光学フィルム〔ZeonorFilm®（ゼオノアフィルム）〕を上市。  
2002年 10月 ゼオローラ開発でGSC賞環境大臣賞受賞。  
2003年 3月 物流資材の製造・販売新会社を設立。  
7月 RIMTEC株式会社を設立。  
8月 重合法カラートナープラントを起工。  
2004年 4月 COP製のLCD用拡散板工場を竣工。  
中国・広州市のカーボンマスターバッチ新工場完成。  
新規低誘電率層間絶縁膜（Low-k）材料を開発。  
10月 COPの生産能力を15,000トンへ増強。  
2005年 2月 高岡で精密光学研究所およびゼオノアフィルム第5棟竣工。  
本社を現住所（東京都千代田区丸の内1-6-2）に移転。  
3月 新規エーテル系溶剤シクロペンチルメチルエーテル（CPME）製造設備の新設および上市。  
米沢市に化学品研究棟竣工。  
2006年 10月 研究開発センター 10号館完成。  
4月 COP絶縁フィルムの開発でIEEE（電気電子学会）CPMT Young Awardを受賞。  
5月 合成香料・リーフアルコール製造設備の能力増強。  
12月

2007年 8月 CPMEの開発とその工業化で2006年度有機合成化学協会賞受賞。  
9月 光学フィルムで「第2回ものづくり日本大賞」受賞。  
富山県氷見市に光学フィルム新工場竣工。  
2008年 6月 水島工場に統合生産センター竣工。  
2010年 2月 大阪証券取引所の上場廃止を申請（平成22年3月に上場廃止）。  
12月 ゼオンケミカルズシンガポール社をシンガポールに設立。  
2011年 2月 ゼオンコリア（株）を韓国に設立。  
CPMEで「InformexUSA 2011」において Profiles in Sustainability Award（製品部門）を受賞。  
7月 瑞翁（上海）管理有限公司を中国に設立。  
10月 富山県氷見市に「斜め延伸位相差フィルム」新設備が完成。  
2012年 2月 ゼオン マニュファクチャリング ベトナム社をベトナムに設立。  
8月 川崎工場に新しい水素化NBR〔Zetpol®（ゼットポール）〕プラント竣工。  
（株）トウペを公開買付けにより子会社化。  
2013年 3月 福井県敦賀市に光学フィルム新工場竣工。  
10月 ゼオンケミカルズ・シンガポール社竣工。  
2014年 4月 S-SBRの生産開始。  
2015年 7月 ゼオンインディア社をインドに設立。  
ゼオン化成メキシコ社（メキシコ・サンルイスポトシ市）設立。  
11月 徳山工場にカーボンナノチューブ製造工場を竣工。  
2016年 4月 カーボンナノチューブ（CNT）の量産技術開発で、産業技術総合研究所（産総研）と文部科学大臣表彰・科学技術賞を受賞。  
12月 CNTとゴム複合の高性能シート系熱界面材料の量産プラント竣工。  
2017年 2月 産総研とCNT複合材料研究拠点を設立。  
4月 住友化学株式会社との事業統合によるZSエラストマー株式会社が営業開始。  
5月 非対称SISの開発が高分子学会賞（技術賞）を受賞。  
8月 シンガポールにAsia Technical Support Laboratoryを開設。  
9月 水島工場の石油樹脂製造施設に水添設備竣工。  
10月 米国カルフォルニア州に高機能材料の現地販売会社Zeon Speciality Materials Inc.を設立、営業開始。  
2018年 9月 タイにアクリルゴムの製造・販売を行うゼオンケミカルズアジア社を設立。  
2021年 8月、商業生産開始。  
2019年 2月 位相差フィルムの開発で大河内記念技術賞を受賞。  
3月 健康経営優良法人2019（大規模法人部門）～ホワイト500の認定取得。  
4月 ゼオンオプトバイオラボ株式会社設立。  
7月 国連グローバルコンパクトに署名。  
12月 株式会社TFCを2020年4月1日をもって吸収合併。  
2020年 1月 大型TV用光学フィルム新規ライン竣工。（敦賀市）  
4月 創立70周年。  
6月 非対称SISを用いたラベル用粘着剤の研究により、2020年度日本接着学会技術賞を受賞。  
9月 気候関連財務情報開示タスクフォース（TFCD）提言への賛同を表明。  
10月 知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言に参画。  
2021年 4月 テレワーク制度を正式適用開始。  
バイオマスからブタジエンを生成する新技術を理研、横浜ゴムと共同開発。  
6月 高熱伝導放熱材料（TIM）の生産を開始。  
8月 タイにおけるアクリルゴム商業生産開始。  
10月 「健康経営宣言」ならびに「Well-beingのための行動指針」を制定。  
2022年 1月 (株)オプテスを吸収合併。氷見二上工場、敦賀工場と改称。  
2月 米国カルフォルニア州にゼオンベンチャーズ社を設立。  
4月 米国Aurora Microplates社を買収。  
東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行。  
7月 本社オフィスをリニューアル。  
2023年 1月 サステナビリティ基本方針を制定。  
米国Edge Precision Manufacturing社を買収。  
12月 マテリアリティ「ゼオンを動かす5つの歯車」を特定。  
2024年 3月 高岡工場においてCOPのリサイクルプラントを竣工。  
4月 SDGs貢献製品認定制度の運用を開始。



本社





## ゼオンならではのC<sub>4</sub>、C<sub>5</sub>の総合利用から 世界に誇れる技術と製品が次々と誕生、ゼオンの得意領域です。

ゼオンの事業は、原油から分離されたナフサをさらに精製して作られるC<sub>4</sub>留分やC<sub>5</sub>留分(炭素原子を4個ないし5個持つ炭化水素類)を中心としています。

C<sub>5</sub>留分からイソプレン、ピペリレン、ジシクロペンタジエンなどの様々な原料を抽出し、ポリイソプレンゴム、熱可塑性エラストマー、石油樹脂、合成香料、RIM(反応射出成形)用配合液、高性能樹脂など、幅広い製品群を生み出し、世界でも類を見ない「C<sub>5</sub>総合利用」を展開しています。水島工場は、C<sub>4</sub>留分とC<sub>5</sub>留分の総合利用を基軸とした日本ゼオンの基幹工場あり、世界で唯一のC<sub>5</sub>総合工場として注目されています。工場における抽出プロセス(GPB法、GPI法)は、日本ゼオンが独自に開発した高純度の成分を製造する技術であり、大河内記念生産賞を受賞するなど高い評価を得ています。

### 事業セグメント



## 持続的に新製品・新技術を。 ゼオンのテクノロジープラットフォーム

従来から持つモノマー抽出技術、モノマー合成技術、重合技術をベースに、水素化技術、低不純物化技術などの要素技術を開発。

さらにその先の事業展開に併せて様々な独自技術を生み出しています。

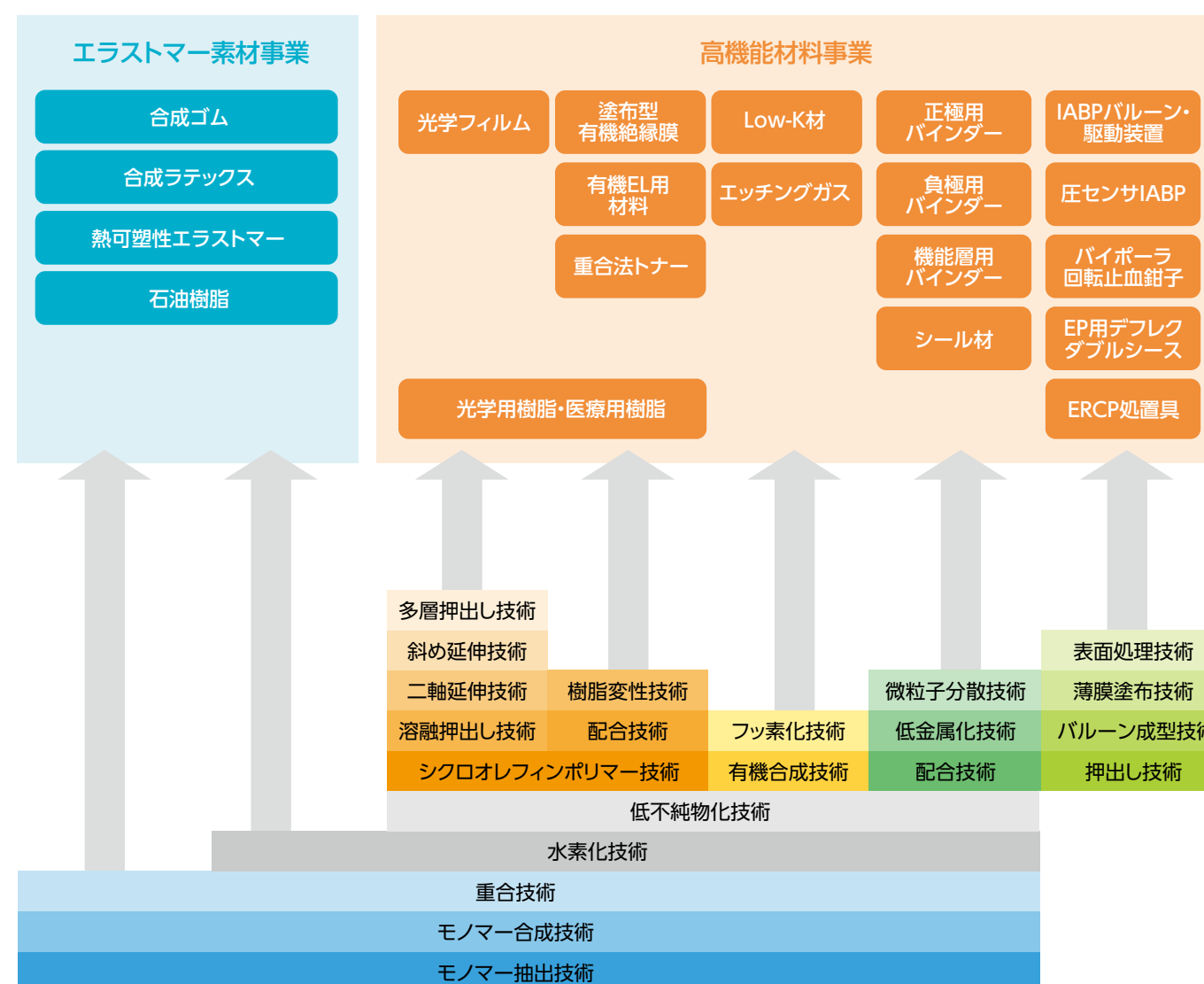
ゼオングループの幅広い事業展開は、こうした事業展開を見据えた基礎技術を備えているからこそ実現が可能となっています。

これからも研究開発の効率化を図るとともに、真のニーズに合致し、社会のお役に立つ新製品・新技術の開発に努めていきます。



総合開発センター 10号館

### 事業分野の要素技術と製品





既存事業をさらに強化し、磨き上げ、揺るぎのない事業構造を確立。  
SDGsへの貢献を目指し、新事業創出・新製品開発にリソースを集中投入 していきます。

ゼオンの事業セグメントは、エラストマー素材事業と、高機能材料事業に大別されます。

エラストマー事業は、成長市場へのグローバルな展開にいち早く取り組み、世界への供給体制を構築してきました。

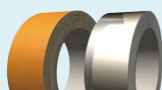
その中で実績を誇る数々の強い事業について供給、開発サポートも含めさらに強化していきます。

高機能材料事業は、重点分野の研究開発を推し進め、新事業分野での用途拡大を目指します。

ゼオンはすべての製品において、製品の製造時及び使用時の環境負荷低減に配慮し、その使用を通じて社会の発展・技術革新に貢献する ことを目指しています。



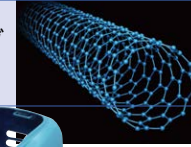
## エラストマー素材事業

|      |                                                                                                      |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                                            |                                                                                      |                                                                                                      |                                                                                     |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 合成ゴム | 溶液重合スチレンブタジエンゴム(S-SBR) 溶液重合SBR<br>Nipol® NSシリーズ(油展、非油展)<br>乳化重合スチレンブタジエンゴム(E-SBR)<br>Nipol® (油展、非油展) |  | ブタジエンゴム(BR)<br>Nipol® BR シリーズ<br>イソプレンゴム(IR)<br>Nipol® IR シリーズ                      | アクリロニトリルブタジエンゴム (NBR)<br>Nipol® NBRシリーズ<br>(極高ニトリル、高ニトリル、 中高ニトリル、中ニトリル)<br>液状ニトリルゴム 粉末NBR 三元共重合体NBR ポリブレンド | エピクロロヒドリンゴム (ECO)<br>Hydrin®<br>アクリルゴム (ACM)<br>Nipol® AR                            | 水素化ニトリルゴム (H-NBR)<br>Zetpol® (極高ニトリル、高ニトリル、中高ニトリル、耐寒タイプ)<br>Zetpol® PB(ポリブレンド)<br>Zeoforte®(ポリマーアロイ) |  |
|      | 合成ラテックス                                                                                              |                                                                                   | スチレンブタジエンラテックス(SBR LATEX)<br>Nipol®                                                 | ポリブタジエンラテックス(EBR LATEX)<br>Nipol®                                                                          | アクリロニトリルブタジエン系 ラテックス(NBR LATEX)<br>Nipol®                                            | アクリレート系ラテックス<br>Nipol®                                                                               |                                                                                     |
| 化成品  | 脂肪族系炭化水素樹脂<br>Quintone®100シリーズ                                                                       | 脂環族系炭化水素樹脂<br>Quintone®1000シリーズ                                                   |  | 熱可塑性エラストマー(SIS)<br>Quintac®                                                                                |  |                  |                                                                                     |
|      |                                                                                                      |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                                            |                                                                                      |                                                                                                      |                                                                                     |

## 高機能材料事業

|           |                                                                                                                                         |                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 高機能樹脂     | 光学用樹脂・医療用樹脂<br>ZEONEX®(ゼオネックス)                                                                                                          | 透明エンブラ<br>ZEONOR®(ゼオノア)                                                               |  |                                                                                       |
| 高機能部材     | プラスチック成形品<br>ZEONEX®を材料とした各種成形品                                                                                                         | 光学フィルム<br>ZeonorFilm®                                                                 |                                                                                       |                                                                                       |
| 電子材料      | リフトオフレジスト<br>ZPNシリーズ                                                                                                                    | 電子線レジスト、現像液<br>ZEPシリーズ                                                                | エッチングガス(C5F8)<br>ZEORORA®ZFL-58                                                       |  |
| 電池材料      | 電池用バインダー材料<br>正極用バインダー、負極用バインダー、機能層用バインダー、電池用シール材、セパレーター用接着剤(AFL)                                                                       |  |                                                                                       |                                                                                       |
| 化学品       | 合成香料<br>グリーン系香料 ジャスミン系香料<br>ラクトン系香料 各種香料                                                                                                | 特殊化学品(工業薬品)<br>炭化水素類 アルコール類 ケトン類 ハロゲン化合物<br>フッ素化合物 その他                                | 特殊溶剤・洗浄剤<br>シクロペンタノン シクロペンチルメチルエーテル(CPME)                                             |  |
|           |                                                                                                                                         |                                                                                       |                                                                                       |                                                                                       |
| メディカルデバイス | 循環器系分野<br>IABPバルーンカテーテル、PTCAバルーンカテーテル、PTCAガイドワイヤー<br>血栓除去用カテーテル、サーモダイリユーションカテーテル、イントロデューサーセット<br>一時ペーシングカテーテル、造形用ガイドワイヤー、アンギオキット、止血システム | 消化器系分野<br>バイポーラススネア、胆石除去用バルーン カテーテル<br>胆管ステント、クラッシュャーカテーテル<br>バスケットカテーテル              | 栄養系分野<br>TPNライン<br>ENカテーテル                                                            |  |
| 重合法トナー    | 重合法トナー<br>ゼオグラビュール®                                                                                                                     |    |                                                                                       |                                                                                       |

## その他の事業

|       |                                  |                                                                                       |
|-------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| CNT事業 | スーパーグロスカーボンナノチューブ<br>ZEONANO®    |  |
| RIM事業 | RIM配合液、RIM成形品<br>PENTAM® METTON® |  |
| 塗料事業  | 各種塗料<br>建築塗料 外装塗料                |                                                                                       |





合成ゴムを中心に、合成ラテックス、化成品、重合法トナーの基盤事業生活に、産業に社会貢献を目指したもののづくりをすすめています

## 合成ゴム

グローバルな事業展開と生産体制で、世界への供給体制を確立、自動車産業に次々と新しい製品をお届けしています。バイオブタジエンゴムなど、次世代のポリマー開発研究も進んでおります。

ゼオンの合成ゴムの歴史は、日本の合成ゴムの歴史と重なります。わが国で初めて合成ゴムを生産開始して以来60余年。世界に先駆けて開発した水素化ニトリルゴムは「Zetpol® (ゼットポール)」のブランドで、特殊合成ゴムの代名詞としてタイミングベルトや油圧機器周りの材料として大活躍しています。また、低燃費タイヤ用の合成ゴムS-SBRは、燃費の削減に寄与するタイヤ材料として注目を浴び、旺盛な需要に支えられ、徳山工場に続くシンガポールの工場を建設。今、第二期のプラントも完成し、S-SBRの二拠点を併せた生産量が年間12万トンを超えるに至りました。

これらの安定・安全生産には、ゼオンの誇る知的生産システムで対応。次世代のエラストマー開発では、環境負荷低減につながる自動車材料としてバイオイソプレンの開発研究など、積極的な取り組みを推進しています。“特殊合成ゴム”のゼオンから、“合成ゴムの世界のリーダー”へ。合成ゴムはゼオンの強固な基盤事業です。



合成ゴム



S-SBR製造プラント(ゼオンケミカルズシンガポール社第二プラント)



SBR,S-SBR,BR等が使われる乗用車タイヤ



自動車エンジン周りに使われる特殊合成ゴム



## 合成ラテックス

生活に密着した用途で大活躍  
合成ラテックスは環境を重視した事業展開で、新用途の開発を進めています。

合成ラテックスの用途は大きな広がりを見せています。主用途である手袋用ラテックスの市場は高い年率で着実な成長を見せており、そこに使用されるゼオンのNBRラテックスは大きな伸びを続けております。

そのほかには、塗工・含浸などの紙加工用途、ABS樹脂用、不織布・繊維用タイヤコード用、粘着剤用途など幅広い用途で活躍しています。



ラテックス



NBRラテックスが使われる手袋



NBRラテックスが使われる化粧用パフ



## 化成品

C5留分の総合利用で、  
独創的な製品群が誕生。  
生産拠点も、グローバルな展開を図っています。

日本ゼオンの独創的な技術の柱であるGPI法。このC5留分の総合利用では世界で唯一と称される水島工場。ゼオンの化成品事業はこの水島工場から生まれる製品群で構成されています。

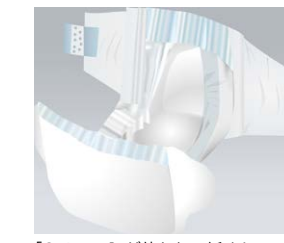
粘着テープや接着剤、トラフィックペイントなどに使用される石油樹脂「Quintone® (クイントン)」に加え、熱可塑性エラストマーSIS「Quintac® (クインタック)」をこの分野での世界一に育てようとしています。新たに開発された非対称SISは、紙おむつのエラストックフィルムなど新規用途への展開が期待されています。



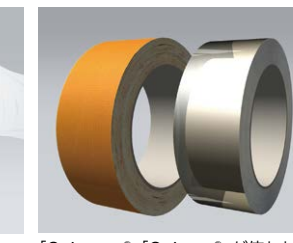
Quintone®



C5石油樹脂が使われるトラフィックペイント



「Quintac®」が使われる紙オムツ



「Quintone®」「Quintac®」が使われる粘着テープ類







高分子設計・加工の技術の融合によって誕生した高付加価値素材  
次世代材料としても大きな注目を集めています

## 高機能樹脂 シクロオレフィンポリマー (COP)

C5の独創的な技術から誕生した高機能樹脂「ZEONEX®」「ZEONOR®」。  
高付加価値な製品はゼオンの未来の担い手です。

1990年、高機能樹脂事業への本格参入から四半世紀、「ZEONEX® (ゼオネックス)」は名実ともに光学樹脂のトップブランドとして成長してきました。今では光学特性を活かしたレンズ、プリズム等の用途に加え、低不純物、低吸水性、低吸着性という特性を活かし、シリンジ、パイアル等の医療用途にまで、用途が広がっています。

ZEONOR®は光学フィルムに姿を変え、  
私たちの生活を彩ります。

「ZEONOR® (ゼオノア)」は樹脂だけでなく、光学フィルム「ZeonorFilm® (ゼオノアフィルム)」として販売しています。ゼオン独自の技術で成形された「ZeonorFilm® (ゼオノアフィルム)」は、大型液晶テレビを始め、タブレット、スマートフォンまで様々な表示機器に採用されています。

ゼオンでは、ポリマー設計から加工製品まで一貫した設計思想を持ち、研究所と生産工場を直結して高い技術力を維持することで次世代の表示機器に対応した製品を次々と生み出しています。



「ゼオネックス」が使われるカメラ、光学機器用レンズ・プリズム



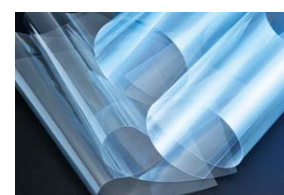
シリンジ



スマートフォン (レンズ、フィルム)



大型テレビ



ZeonorFilm®



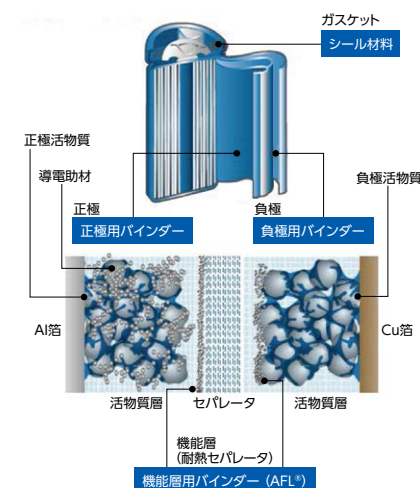
ZEONEX®ペレット



## エネルギー材料

これから大きく伸びる電池市場のエースです。  
製品ラインナップの拡充で、  
新しい市場へチャレンジしています。

ゼオンの電池用バインダーは、リチウムイオン電池の要求性能に高い次元での品質を確保し、安全性でお客様のニーズにお応えしてきました。中でも負極用バインダーは世界トップクラスのシェアを誇り、正極用バインダー、機能性バインダーに加え、蓄電池のセパレータ用接着剤 (製品名 AFL®) もこのほどラインナップに加えました。自動車業界の流れは電気自動車やハイブリッド車へと大きくシフトをきり、その環境下で電池材料への大きな期待が寄せられています。



## 化学品

充実した生活に、より一層の演出を。  
合成香料を中心に、工業薬品、医農薬中間体、  
洗浄剤など、多岐にわたる事業展開です。

化学品事業の柱は、生活に潤いを与える合成香料。食品用に、化粧品用にと、私たちの生活に欠かせない重要な役割を担っています。この合成香料を含め、工業薬品、医農薬原料および中間体、洗浄剤などいずれもC5留分の総合利用から誕生した製品群です。



ジャスミン系の代表的合成香料で、シャンプー・リンス・石鹸等に使用されます。







高分子設計・加工の技術の融合によって誕生した高付加価値素材  
次世代材料としても大きな注目を集めています

## メディカルデバイス

医療機器の提供を通じて  
クオリティ・オブ・ライフの向上に貢献します。

循環器系、消化器系を中心に、ゼオンのメディカル部門は事業の拡大に取り組んできました。循環器系の製品としてはIABP(大動脈内バルーンポンピング)の駆動装置、冠動脈の狭窄を診断する装置やその周辺医療機材であるPTCA用バルーンなどの製品を展開しています。消化器系の製品としては、石採り(ERCP)の石流しオフセットバルーンやクラッシャーカテーテル、胆道系では細径胆管ステントなど内視鏡の診断・治療のデバイスを提供しています。

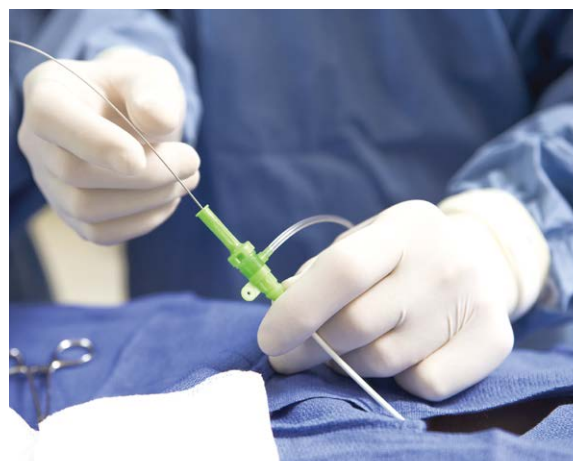
メディカル部門は、工場と研究所が同一敷地内にあり、ユーザーニーズを先取りし、新製品に設計にいち早く取り入れるなど事業の迅速な展開を図っています。



ゼオンメディカル研究所・工場(富山県高岡市)



工場(富山県高岡市)

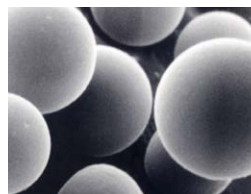


バルーンカテーテル

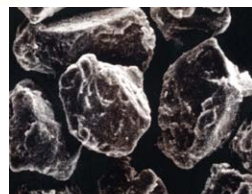
## 重合法トナー

合成ゴム・合成ラテックスで培った  
高度なポリマー設計技術と  
微粒子制御技術で、工業化に成功しました。

ゼオンが世界で初めて工業化に成功した重合法トナー「ゼオグラビュール®」は、ゼオンのポリマー設計技術と、微粒子制御技術とによって誕生した、均一で真球状の画期的なトナーです。プリンタの高画質化への貢献はもちろん、低温定着性による省エネルギー化にも大きく寄与しております。



重合法トナー



粉碎法トナー



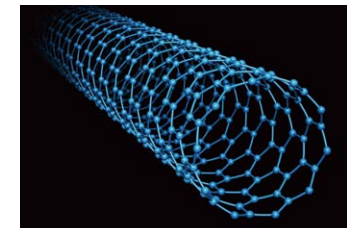
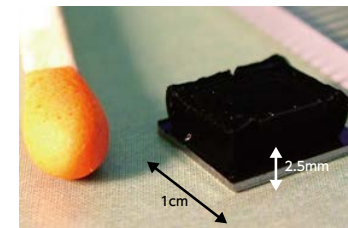
## CNT事業

世界初、夢の素材と称された「カーボンナノチューブ」が  
量産化を経て、本格的な事業展開を迎えています。  
次世代素材のイノベーションが始まりました。

NEDOプロジェクト、産業技術総合研究所との共同研究を経て2015年、ゼオン徳山工場にて量産化がスタート。

多くの優れた特性を有し、既存事業ではゴム・樹脂との複合化による新規材料の誕生。新しい用途としては高耐熱性ゴム、高熱伝動複合材料などの展開が進んでいます。

新規展開例として、ZEONANO®(単層カーボンナノチューブ)をゴムに複合し、低熱抵抗のシート系熱界面材料(TIM:Thermal Interface Material)の事業化に成功。サーバーやパワーデバイスの発熱問題解決に貢献します。



カーボンナノチューブの構造を示した拡大イメージ図

## RIM事業

海外展開も積極展開し、欧州の開発販売拠点として  
フランス・リールにあるテレン社を中心に  
市場の拡大を目指しています。

C5留分より抽出したジシクロペンタジエンを主原料とし、RIM(Reaction Injection Molding=反応射出成形)方式により成形される熱硬化性樹脂の配合液の製造事業です。原料配合液は、金型内で重合反応と躯体成型を同時に行い、成型された樹脂は強靱で、ユニットバス、浴槽床材、トラックのバンパー等大型成形に適しています。



## その他の事業

### ■ 塗料事業

塗料メーカーのトウペと2013年に事業統合をいたしました。  
ユーザーニーズに合わせた最適な塗料を開発し販売しています。

### ■ 建材事業

ゼオン化成では、防音材や外壁材などの各種建築材料を製造・販売しています。





独創的技術を駆使した研究開発から、新製品が次々と開花  
事業戦略に直結し、次世代へのイノベーションの深耕が続いています。

## 研究開発の基本理念

技術を中心に据えた経営理念のもと、「ニッチでも、日本ゼオンらしい得意分野で人のまねをしない、ひとのまねのできない、地球にやさしい、革新的独創的技術に基づく、世界一製品・事業を継続的に創出し、社会に貢献する」を、研究開発の基本理念としています。

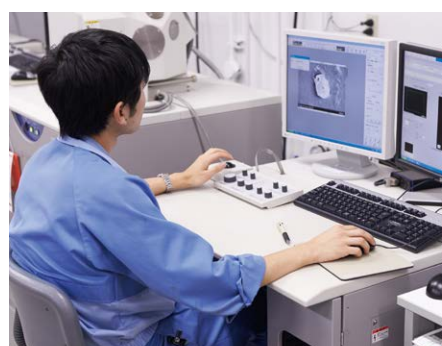
ゼオンの研究員はおよそ500名。研究所は川崎地区のほか、高岡、徳山、水島の各工場に隣接して活動しております。製造現場に研究開発組織を立地させることで製造と技術の一体化を図れるとともに、ラボスケール実機試作の早期化など、柔軟で効率的な研究開発体制を整えています。

また、研究開発におけるグローバル体制も着々と進めてきました。国内外のグループ企業ともネットワークを構築し、合成ゴム事業では、米国、中国、シンガポールに各拠点を設けユーザサポートも含め次世代材料の研究開発に取り組んでいます。

一方、新たなる研究開発への取り組みも始まっています。新事業・新技術に特化した創発推進センターの設立など、2030年までのゴールを見据えたSDGsへの取り組みも含め、持続的な研究開発に挑戦しています。



総合開発センター8号館



## 組織体制

ゼオンの研究開発は総合開発センターが担います。川崎地区に立地しているほか、事業所に隣接して新製品の開発のスピードアップに取り組みます。

### 総合開発センター

- 創発推進センター
- セルバイオサイエンス研究所
- 基盤技術研究所
- CNT研究所
- エラストマー研究所
- トナー研究室
- 高機能化学品研究所
- 複合材料研究所
- 機能性材料第一研究所
- 機能性材料第二研究所
- 高機能樹脂研究所
- 精密光学研究所
- 加工品開発研究所
- 生産技術研究所
- 分散加工研究室
- カーボンニュートラル研究開発推進室
- ものづくりスタジオ
- モビリティスタジオ
- 医療ライフサイエンススタジオ
- 研究企画部
- 管理部



生産技術研究所(川崎)



精密光学研究所(高岡)

## 研究ヒアリング

研究所では一か月に一度、研究ヒアリングが開催されます。これは、中長期戦略に基づく研究テーマについて、その事業性や優位市営などを確認する活動です。

この研究ヒアリングには社長をはじめ、経営陣も毎回参加をし、研究員からの開発の推進状況などを直接ヒアリングしています。こうした経営戦略と研究戦略の一致もゼオンの研究開発の特徴の一つです。





## 生産革新手法を用いた ゆるぎない「品質」「信頼」を世界へお届けしています



### 川崎工場・総合開発センター

わが国で初めて合成ゴムの量産を開始。以来、60年以上にわたり自動車のベルト、ホースなどに使用される耐油性、耐熱性に優れた特殊合成ゴムやゴム手袋や化粧品用パフにも使われる合成ラテックスを製造し、現在では年産10万トンを超える生産規模に成長しています。品質はもちろん、環境保護、安全も重視した首都圏の主力工場として活躍しています。また、敷地内に隣接して総合開発センターがあります。

**工場所在地** 神奈川県川崎市川崎区夜光1-2-1  
**操業開始** 1959年7月

〈主要製品〉合成ゴム、合成ラテックス、リチウムイオン電池向け材料



### 高岡工場

塩化ビニル樹脂の量産工場として操業を開始し、その需要拡大を支える重要な役割を果たしてきました。その後、事業環境の変化に対応し塩化ビニル樹脂の生産から撤退し、現在は水素化ニトリルゴム、電子材料等の高付加価値製品の製造工場として活躍。シクロオレフィンポリマーの生産も開始され、高機能材料事業の先端工場として稼働を続けています。

**工場所在地** 富山県高岡市荻布630  
**操業開始** 1956年11月

〈主要製品〉合成ゴム、電子材料、シクロオレフィンポリマー



### 水島工場

倉敷市の水島臨海コンビナートの一角に、汎用塩化ビニル樹脂の生産拠点として誕生。その後、ブタジエンモノマー抽出プラント、イソブレンモノマー抽出プラント、さらにはイソブレンゴム、合成香料や高機能樹脂などのC5関連製品を生産しています。自社開発技術の《GPI法》の成功により、世界でも類を見ないC5事業の総合利用生産拠点として拡大・発展しています。また、ダイセル方式による「生産革新システム」を導入しています。

**工場所在地** 岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1  
**操業開始** 1969年7月

〈主要製品〉合成ゴム、熱可塑性エラストマー、石油樹脂、シクロオレフィンポリマー、合成香料、ブタジエン（モノマー）、イソブレン（モノマー）



### 徳山工場

GPB法によるブタジエンモノマーを活用した合成ゴムの主力工場として誕生。その後、特殊合成ゴム、合成ラテックスの設備を完成、1995年に重合法トナーの製造を開始しました。現在では、タイヤ用や樹脂改質用汎用ゴム、自動車部品用特殊ゴム、紙加工・手袋用・樹脂改質ラテックス及び重合法トナーを生産しています。生産した合成ゴムの多くは欧米、アジアなどに向けて輸出。徳山工場はゼオンの素材事業の中核工場として、グローバルな活動を展開しています。また、単層カーボンナノチューブの世界初の量産化プラントを工場内に竣工しました。

**工場所在地** 山口県周南市那智町2-1  
**操業開始** 1965年8月

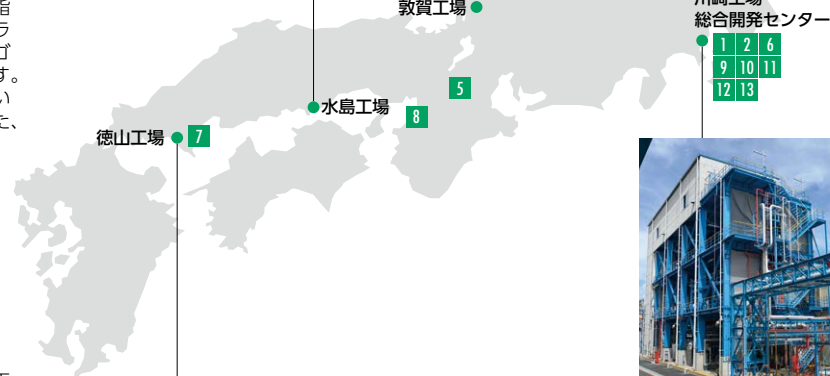
〈主要製品〉合成ゴム、合成ラテックス、重合法トナー、単層CNT、ブタジエン（モノマー）



高岡工場



水島工場



徳山工場



### 氷見二上工場

高岡市、氷見市に2か所の光学フィルム量産工場を構えています。高機能樹脂ZEONOR®から光学フィルムまでの一貫体制を構築。ユーザーニーズへの迅速な対応など、今日のディスプレイの躍進に大きく貢献しています。

**工場所在地** 氷見：〒935-0035  
富山県氷見市上田子80  
二上：〒933-0981  
富山県高岡市二上新422-1  
**操業開始** 氷見：2007年9月  
二上：2001年6月

〈主要製品〉光学フィルム



### 敦賀工場

光学フィルムの量産工場。中でも2020年に生産開始した世界最大幅（2,500mm幅）となる大型TV用フィルムは2023年の生産開始を目指して生産能力を倍増する計画です。

**工場所在地** 福井県敦賀市荻生野35  
**操業開始** 2013年10月

〈主要製品〉光学フィルム

## 国内グループ企業

### 1 ゼオンエフアンドビー株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-3216-1410 FAX:03-3216-1421

● ファクタリング業・損害保険代理業・不動産取引業個人ローン

### 2 ゼオン化成株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-5208-5111 FAX:03-5208-5290

● プラスチック製品・包装資材等の製造・販売

### 3 ゼオンケミカルズ米沢株式会社

山形県米沢市八幡原3-446-13  
TEL:0238-29-0055 FAX:0238-29-0053

● 香料の製造加工販売、RIM配合液の製造・販売

### 4 ゼオンノース株式会社

富山県高岡市米島1061番地2  
TEL:0766-25-1111 FAX:0766-25-1114

● 各種設備の請負・設計・施工・管理、工業用資材・機材の販売、石油製品の仕入・販売

### 5 ゼオンポリミクス株式会社

滋賀県大津市石居1-11-1  
TEL:077-546-1223 FAX:077-546-6099

● 合成ゴム（カーボンマスターバッチゴム）の精練加工

### 6 ゼオンメディカル株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-3216-1265 FAX:03-3216-1269

● 医療機器の製造・販売

### 7 ゼオン山口株式会社

山口県周南市那智町2-1  
TEL:0834-21-8482 FAX:0834-21-8663

● 土木建築資材・包装資材・各種設備の売買、各種工事の設計・施工・請負、環境分析

### 8 株式会社トウベ

大阪府堺市西区築港新町1-5-11  
TEL: 072-5243-6411 FAX: 072-243-6415

● 塗料、高機能材料の製造販売

### 9 RIMTEC株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-5220-8581 FAX:03-5220-8584

● RIM成形品や配合液の製造・加工・販売

### 10 東京材料株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-5219-2171 FAX:03-5219-2201

● 各種化学商品等の仕入販売

### 11 ZSエラストマー株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-3216-0620 FAX:03-3216-0629

● S-SBRの販売・研究開発

### 12 岡山ブタジエン株式会社

東京都中央区日本橋本町3-1-11(繊維会館2階)  
TEL:03-3278-0721 FAX:03-3278-0722

● ブタジエンモノマーの製造・販売

### 13 ジスインフォテクノ株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)  
TEL:03-3216-6500 FAX:03-3216-6534

● 情報処理システムに関するコンサルティング他  
コンピュータ及びOA機器の販売保守

### 14 ゼオンオプトバイオラボ株式会社

栃木県佐野市小中町234番地1  
TEL:0283-23-7061

● シクロオレフィンポリマーを使用した樹脂製マイクロ流路チップなどの試作品成形の受託事業



株式会社トウベ



ゼオンケミカルズ米沢株式会社



ゼオンメディカル株式会社 高岡工場



川崎工場



総合開発センター





## 国境を超えてひろがる ゼオンのグローバルネットワーク



- 1 瑞翁(上海)管理有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号200030)上海市徐匯区虹橋路3号港匯中心二座4109单元  
TEL : +86-21-6167-5776 FAX : +86-21-6040-7258
- 1 瑞翁貿易(上海)有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号200030)上海市徐匯区虹橋路3号港匯中心二座4106-07单元  
TEL : +86-21-6040-7255 FAX : +86-21-6040-7258
- 1 瑞翁化工(上海)有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号201108)上海市閔行区辛庄工業区申南路380号  
TEL : +86-21-64896160 FAX : +86-21-64420569
- 1 瑞竹化工(上海)有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号201108)上海市閔行区辛庄工業区申南路380号
- 1 東材(上海)國際貿易有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号200235)上海市徐匯区虹橋路3号港匯中心二座4108单元  
TEL : +86-21-6119-9400 FAX : +86-21-6119-9401
- 2 瑞翁化工(広州)有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号511356)広州經濟技術開發区永和經濟区井泉一路一号  
TEL : +86-20-3222-1171 FAX : +86-20-3222-1820
- 2 瑞翁(広州)医療器械有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号510620)広州市天河区体育東路138号  
金利来数碼網絡大厦1706A室  
TEL : +86-20-2283-6788 FAX : +86-20-2283-6789
- 2 東材(広州)國際貿易有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号510620)広州市天河区体育東路138号  
金利来数碼網絡大厦1208室  
TEL : +86-20-2283-6788 FAX : +86-20-2283-6789
- 3 瑞翁貿易(上海)有限公司 深圳分公司**  
中華人民共和国(郵便番号518064)深圳市南山区海德一道88号  
中州控股金融中心A座7楼 单元766  
TEL : +86-755-8652-3220
- 4 瑞翁化成塑料(常熟)有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号215500)江蘇省常熟市東南經濟開發区黄浦江路  
208号鑫航科技产业园9号楼  
TEL : +86-512-5235-7000 FAX : +86-512-5235-7308
- 5 東材(天津)國際貿易有限公司**  
中華人民共和国(郵便番号300051)天津市和平区南京路189号  
津汇广场1座 1805室  
TEL : +86-22-23021268 FAX : +86-22-23021278
- 6 泉瑞股分有限公司**  
3F-2, No.266, Sec. 1, Wenhua 2nd Rd., Linkou Dist., New Taipei City 24448, Taiwan  
TEL : +886-2-2609-2156 FAX : +886-2-2600-6413
- 7 台灣瑞翁股份有限公司**  
4F., No.36, Nanjing W. Rd., Datong Dist., Taipei City 103, Taiwan  
TEL : +886-2-2552-3620
- 8 Zeon Korea Co., Ltd.**  
No.403, 4FL, 36, Teheran-ro 87-gil, Gangnam-gu, Seoul, 06164, Korea(City Air Tower, Samseong-dong)  
TEL +82-2-539-8565 FAX : +82-2-539-5190
- 8 Zeon Shinhwa Inc.**  
No.502 CALT B/D (City Airport) 22, Teheran-ro 87-gil, Gangnam-gu, Seoul, 06164, Korea  
TEL : +82-2-761-7030 FAX : +82-2-786-7221
- 9 Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd**  
100 Banyan Drive, Jurong Island, Singapore 627571  
TEL : +65-6933-4400 FAX : +65-6933-4413
- 10 Zeon Asia Pte. Ltd.**  
331 North Bridge Road #20-01/02 Odeon 331 Singapore 188720  
TEL : +65-6332-2338 FAX : +65-6332-2339
- 10 Asia Technical Support Laboratory**  
61 Science Park Road, #05-09/10 The Galen, Singapore Science Park 2, Singapore 117525  
TEL: +65-6266-7631 FAX: +65-6266-7712
- 10 Tokyo Zairyo (Singapore) Pte. Ltd.**  
331 North Bridge Road, #20-01/02, Odeon Towers, Singapore 188720  
TEL: +65-6337-5053 FAX: +65-6337-4557

- 11 Zeon Asia Malaysia Sdn. Bhd.**  
Unit 208,Block B,Phileo Damansara 2,No15,Jalan16/11,  
Off Jalan Damansara, 46350 Petaling Jaya Selangor Malaysia.  
TEL : +603-7956-7069 FAX : +603-7957-1758
  - 12 Zeon India Private Limited**  
Time Tower, Unit No. 708, 7th Floor, Sector 28, M.G Road,  
Gurgaon, Haryana, India 122002  
TEL : +91-124-4229461 FAX : +91-124-4229462
  - 12 Tokyo Zairyo (India) Pvt. Ltd.**  
Time Tower, Unit No.708, 7th floor, Sector-28, M.G Road,  
Gurgaon-122002, Haryana, India  
TEL : +91-124-424-9011 FAX : +91-124-424-9005
  - 13 Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.**  
3 Soi G-14, Pakorn-Songkhorad Road, Tambol Huaypong,  
Amphur Muangrayong, Rayong 21150, Thailand  
TEL : +66-38-685-973~5 FAX : +66-38-685-972
  - 13 e-Coatings Asia Co., Ltd.**  
Pakornsongkhorad Road, WHA Eastern Industrial Estate Maptaput,  
Maptaput, Mueng Rayong, Rayong 21150 Thailand  
TEL : +66-033-017324
  - 13 Zeon Chemicals Asia Co., Ltd.**  
16 Phangmuang Chapoh 3-1 Road, Huaypong Sub-district,  
Muang Rayong District, Rayong 21150, Thailand  
TEL : +66-33-017-781~6 FAX : +66-33-017-788
  - 14 Zeon Advanced Polymix Co., Ltd**  
111/2 Soi Nikom 13, Moo 2 T.Makhamkhoo, Nikompattana  
District Rayong 21180, Thailand  
TEL : +66-88-203-0380 FAX : +66-38-893-569
- Sales Office  
591 UBCII BLDG, Office No.2206, 22thFL, Sukhumvit 33rd,  
Klongton Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand  
TEL : +66-2-261-0175 FAX : +66-2-261-0172
- 14 Tokyo Zairyo (Thailand) Co.,Ltd.**  
29th Floor Room 2903, Empire Tower 1 South Sathorn Rd., Yannawa,  
Sathorn, Bangkok, 10120, Thailand  
TEL : +66-2-670-0285 FAX : +66-2-670-0283
  - 15 Zeon Manufacturing Vietnam Co., Ltd.**  
LNo.109, Road No.10, VSIP Haiphong Township, Industrial  
and Service Park, Dinh Vu - Cat Hai Economic Zone,  
Thuy Nguyen District, Haiphong City, Vietnam  
TEL : +84-225-3797-027 FAX : +84-225-3797-028
  - 16 Zeon Research Vietnam Co., Ltd.**  
9th floor, 14 Lang Ha Building, 14 Lang Ha street, Thanh Cong ward,  
Ba Dinh district, Hanoi, Vietnam 11513  
TEL : +84-4-3632-0557 FAX : +84-4-3632-0557
  - 16 Tokyo Zairyo (Vietnam) LLC.**  
Room 705, 7th floor, Gelex Building, 52 Le Dai Hanh Street,  
Le Dai Hanh Ward, Hai Ba Trung Dist, Hanoi, Vietnam  
TEL : +84-24-3941-3825 FAX : +84-24-3941-3826
  - 17 Branch of Tokyo Zairyo (Vietnam) LLC in HCMC**  
Unit 1203, 2nd FL, CITYVIEW, 12 Mac Dinh Chi st., Da  
Kao Ward, Dist. 1, Ho Chi Minh City, Vietnam  
TEL : +84-28-3911-0135 FAX : +84-28-3911-0136
  - 18 PT. Tokyo Zairyo Indonesia**  
Gedung MidPlaza 2, Lantai 12, Jl. Jend. Sudirman Kav.  
10-11,Jakarta 10220  
TEL : +62-21-574-6454 FAX : +62-21-573-5661





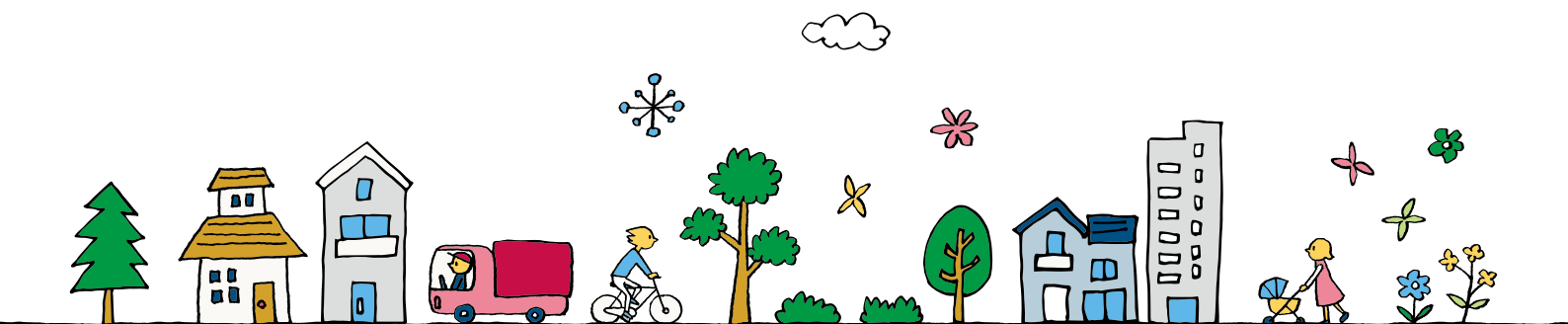
## 国境を超えてひろがる ゼオンのグローバルネットワーク



### 北米・中南米

### ヨーロッパ





●本カタログに使用している写真およびイラストについては使用例ではなく、用途例を示したものです。

# 日本ゼオン株式会社

〒100-8246 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル  
TEL : 03-3216-1772 FAX : 03-3216-0501

[www.zeon.co.jp](http://www.zeon.co.jp)



June 2024  
0624015(MK-MB)  
187.05-116-1096